

地域医療確保対策特別委員会会議記録

地域医療確保対策特別委員長 小野 共

1 日時

平成 23 年 11 月 4 日（金曜日）

午後 1 時 22 分開会、午後 1 時 49 分散会

2 場所

第 3 委員会室

3 出席委員

小野共委員長、軽石義則副委員長、五日市王委員、高橋昌造委員、高橋元委員、千葉伝委員、嵯峨耄朗委員、城内愛彦委員、及川あつし委員、小西和子委員、高田一郎委員、小野寺好委員

4 欠席委員

なし

5 事務局職員

多賀担当書記、荒屋担当書記

6 説明のために出席したもの

なし

7 一般傍聴者

なし

8 会議に付した事件

- (1) 委員長の互選について
- (2) 副委員長の互選について
- (3) その他(次回の委員会運営について)

9 議事の内容

○多賀担当書記 私は、地域医療確保対策特別委員会の担当書記の多賀であります。よろしくお願ひいたします。

特別委員選任後、最初の委員会でありますので、委員長が互選されるまでの間、委員会条例第 7 条第 2 項の規定により、年長の委員が委員長の職務を行うことになっております。

出席委員中、高橋昌造委員が、年長の委員でありますので、御紹介申し上げます。

高橋昌造委員、委員長席に御着席をお願いいたします。

〔高橋昌造年長委員、委員長席に着席〕

○高橋昌造委員 ただいま紹介されました高橋昌造であります。何とぞよろしくお願ひいたします。

委員会を開きます前に、当地域医療確保対策特別委員会の担当書記を紹介いたしたいと思います。多賀担当書記。荒屋担当書記。

それでは、ただいまから本日の会議を開きます。

これより委員長の互選を行います。委員会条例第7条第2項の規定により、委員長互選の職務を行います。

お諮りいたします。委員長の互選は、指名推選と投票のいずれにより行いますか。

〔「投票」と呼ぶ者あり〕

○高橋昌造委員 委員長の互選は、投票により行います。委員会室の閉鎖を命じます。

〔委員会室閉鎖〕

○高橋昌造委員 ただいまの出席委員数は、12人であります。お諮りします。立会人に軽石義則委員、城内愛彦委員を指名いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○高橋昌造委員 御異議なしと認めます。よって、立会人に軽石義則委員、城内愛彦委員を指名いたします。

○高橋昌造委員 投票用紙を配付いたします。

〔担当書記が投票用紙配付〕

○高橋昌造委員 投票用紙の配付漏れはありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○高橋昌造委員 配付漏れなしと認めます。投票箱を改めます。

〔票箱点検〕

○高橋昌造委員 異状なしと認めます。

念のため申し上げます。投票は、単記無記名であります。投票用紙に被選挙人の氏名を記載の上、順次、投票願います。

〔担当書記が投票箱を委員席順に持ち回り、最後に年長委員が投票〕

○高橋昌造委員 投票漏れはありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○高橋昌造委員 投票漏れなしと認めます。投票を終了いたします。

開票を行います。軽石委員、城内委員、立会いを願います。

〔立会人が委員長席に集合後、開票〕

選挙の結果を報告いたします。

投票総数12票、有効投票10票、無効投票2票、有効投票中小野共君8票、及川あつし君2票、白票2票。以上のおりであります。

よって、小野共君が、地域医療確保対策特別委員長に当選となりました。委員会室の閉鎖を解きます。

〔委員会室開鎖〕

○高橋昌造委員 ただいま当選されました小野共君が委員会室におられますので、本席か

ら当選の告知をいたします。小野共委員長、委員長席へお着き願います。

〔高橋昌造委員退席、小野共委員長着席〕

○小野共委員長 お疲れ様です。ただいま皆様方に御選任されまして、地域医療確保対策特別委員長となりました小野共でございます。

皆様方のご協力によりまして委員長の職責を果たしたいと存じております。これから何とぞよろしくお願ひ申し上げます。

○小野共委員長 引き続きまして、副委員長の互選を行いたいと思ひますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○小野共委員長 御異議なしと認め、さよう決定いたしました。

これより副委員長の互選を行います。

お諮りいたします。副委員長の互選は、指名推選と投票のいずれにより行いますか。

〔「投票」と呼ぶ者あり〕

○小野共委員長 副委員長互選は投票により行います。委員会室の閉鎖を命じます。

〔委員会室閉鎖〕

○小野共委員長 ただいまの出席委員数は、12人であります。

お諮りします。立会人に高橋元委員、嵯峨壱朗委員を指名いたしたいと思ひます。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声〕

○小野共委員長 御異議なしと認めます。よって、立会人に、高橋元委員、嵯峨壱朗委員を指名いたします。

○小野共委員長 投票用紙を配付いたします。

〔担当書記が投票用紙配付〕

○小野共委員長 投票用紙の配付漏れはありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○小野共委員長 配付漏れなしと認めます。投票箱を改めます。

〔投票箱点検〕

○小野共委員長 異状なしと認めます。

念のため申し上げます。投票は、単記無記名であります。

投票用紙に被選挙人の氏名を記載の上、順次投票願ひます。

〔担当書記が投票箱を委員席順に持ち回り、最後に年長委員が投票〕

○小野共委員長 投票漏れはありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○小野共委員長 それでは投票を終了いたします。

開票を行います。高橋元委員、嵯峨委員、立会い願ひます。

〔立会人が委員長席に集合後、開票〕

○小野共委員長 選挙の結果を報告いたします。

投票総数 12 票、うち有効投票 10 票、無効投票 2 票。

有効投票中、軽石義則君 8 票、小西和子君 2 票、白票 2 票。以上のとおりであります。

よって、軽石義則君が地域医療確保対策特別副委員長に当選されました。

委員会室の閉鎖を解きます。

〔委員会室開鎖〕

○小野共委員長 ただいま当選されました軽石義則君が委員会室におられますので、本席から当選の告知をいたします。

副委員長、ごあいさつを願います。

○軽石義則副委員長 ただいま皆様方に御選任され、地域医療確保対策特別副委員長となりました軽石義則であります。

委員長をしっかりと補佐し、円滑、公平な委員会運営を目指し、頑張りたいと思いますので、委員各位の御協力をお願い申し上げます。

○小野共委員長 次に、当特別委員会の運営につきましては、さきの各会派政策担当者会議及び議会運営委員会における確認事項といたしまして、執行部には資料提供依頼にとどめ基本的には出席を求めないこと、専門家等の参考人招致制度を活用すること、現地調査を含んだ調査内容とすることなどの申し合わせがなされておりますので、御了承願います。

また、今回が初めての委員会でありますので、今後の調査事項について、各委員にお考えがありましたら率直に御発言いただきたいと思いますが、御意見がありましたらお願いいたします。

○及川あつし委員 まず、正副委員長互選され当選された皆様には祝意を申し上げます。おめでとうございます。なお、今回は異例ではありますが、選挙によって正副委員長を選ばれており、選挙の結果、正副委員長に当選されたわけではありますけれど、4分の1の委員が同意をしない形で選任されているという結果も十分お踏まえいただきたいと思います。

1点目は、正副委員長とも同一会派から選任されております。このこと自体を直ちに問題視するわけにはいきませんが、今回、四特別委員会を設置するにあたって、我が会派は設置自体に疑義を呈してまいりました。それは、従来の議会の置かれている環境と今が違うからということがあります。ただ、設置された以上、その任務に当たっては今、東日本大震災津波の影響を一日も早く減じ、一日も早く復興対策を進めなければいけないという環境下にかんがみて、喫緊の課題について実効性のある調査をぜひお進めいただきたいというのが1点であります。

2点目には、直接、当委員会に付託されている案件ではございませんけれども、今、地域医療確保の先進的モデルと言われた花泉診療所の委託の問題が惹起されております。この案件について、直接この委員会が調査をするのは問題であろうかとは思いますが、民間委託についてどうなのか、地域医療を確保するために県立病院がどうあるべきかという喫緊の課題について、項目を絞って委員会の運営に努めていただきたいというのが2点目

でありますので、よろしくお願ひしたいと思います。

なお、もう1点であります、従来はほぼ正副委員長に委員会の運営については一任してまいりましたが、今回はそのような事情がありますので、委員会運営については格段の御配慮をお願ひしたい。つまり、一任をして正副委員長に特別委員会の運営をお任せするというにはまいりませんので、先ほど正副委員長からのあいさつにありましたけれども、委員会運営については、その都度円滑で公平であるように特段の計らいをしていただきますとともに、委員会運営の内容については逐次、委員に示していただきますようお願い申し上げます。

○小野共委員長 その他ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○小野共委員長 それでは、ただいま及川委員からいただきました御意見等を踏まえ、今後の調査事項の参考とさせていただきますと思います。

次に、次回来年1月の閉会中に予定されております委員会の調査事項についてですが、御意見等がありますか。

特に御意見等がなければ、先ほどの及川委員の発言もありましたとおり、十分に意見を踏まえまして当職に御一任願ひしたいと思います、これにご異議ありませんか

○及川あつし委員 私、今申し上げただけけれども、お話しした後、そこで一任してしまったら、出てきた結果がどうなっているかわからないではないですか。ですから、今の意見を踏まえて、今、喫緊の課題として地域医療の確保、県立病院と民間委託の関係がどうなっているのかという問題もあるので、そうしたテーマ選定をしていただきたい。そのことで図っていただいて、御確認をいただきたいと思います。

○小野共委員長 今日のところは次の1月の閉会中に行われる調査事項については、まだ、今日この場で決めずに、事務局なりと相談させていただきたいと思います。

○及川あつし委員 次、12月の定例会もあるわけありますので、12月定例会中に短時間でも構いません。特別委員会の運営の具体について諮る機会をつくっていただきたい。従来どおり一任して、日程が突然出てくるというやり方は、今回我々は断じて認めるわけにはいきませんので、具体的にそのようお願いしたいと思います。

○小野共委員長 12月定例会中に一度、委員会を開いてほしいという及川委員の意見でありましたがそれも含めて少し検討させていただきたいと思います。このようなことでよろしいですか。

〔「意を酌んでその方向で」と呼ぶ者あり〕

○小野共委員長 そのほかありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○小野共委員長 以上をもって、本日の日程は全部終了いたしました。

本日はこれを持って散会いたします。